

昭和46年工業出荷額

4568億360万円で県下1に

工業統計調査を昨年12月31日現在で実施しましたが、このほど調査結果がまとまりました。

国内景気の不振を反映し出荷額の減つたものや公害防止などのため操業短縮で伸びなやんだ産業も見られましたが、ほとんどの産業が順調な伸びを示しましたこの結果、昨年1年間の富士市の工業出荷額は、4568億360万円で、45年の3742億6343万円を大幅に上回り、県下第1位となりました。

県下の出荷額上位5市

	46年出荷額	事業所数	従業者数
富士市	4568億円	1168	45,529人
浜松市	4492億円	4389	79,720人
清水市	3415億円	1189	37,234人
静岡市	2420億円	4314	44,206人
沼津市	1997億円	1467	29,843人
県総計	3兆540億円	25672	454,021人

産業別に出荷額を見ると依然として紙・パルプが中心となり1812億955万円で

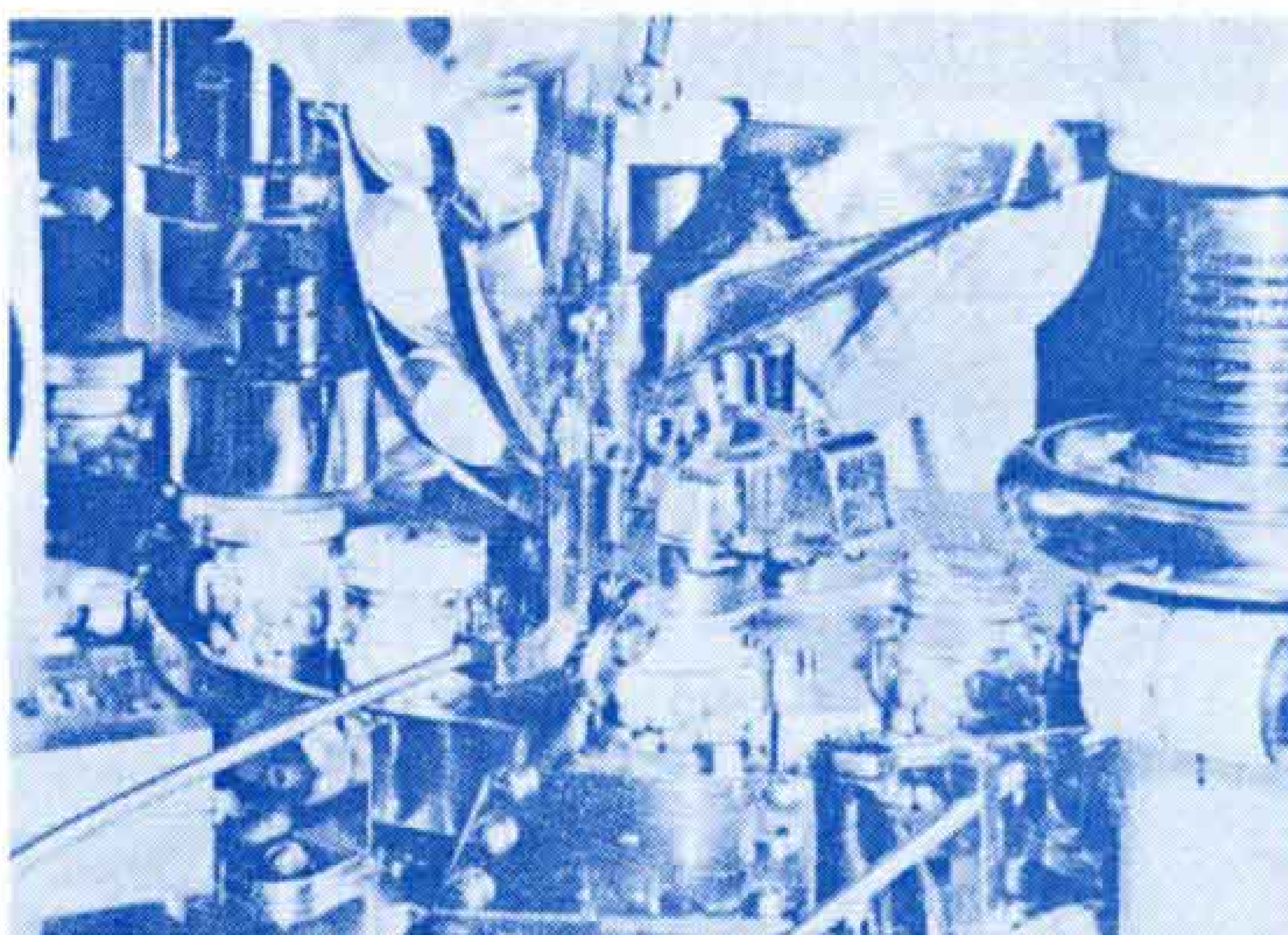
全体の39%を占めています。しかし、全体を占める割合は合併時の昭和41年の51%に比べ大幅に低下しています。

これに対し、他の産業の占める割合は年ごとに増加しています。化学工業は954億9471万円で20.9%（昭和41年16.8%）輸送機械は761億6125万円で16.7%（13.2%）、電気機械は603億9468万円で13.2%（6.3%）、食料品は134億8281万円で2.9%（2.8%）などが主なものです。

事業所数は、一部紙加工業の廃業などもありましたが、1168事業所と前年より15事業所増加しました。41年の1061事業所に対しては、107事業所の増加と順調に増えています。

従業者数は、45529人

で前年より1845人増加しました。41年は3647人でしたので、9053人の増加となっています。これを1事業所当りで見ると約39人となり41年が約34人でしたので、ここ数年間に各事業所が大型化されているものと思われます。



【化学工業の出荷額が大幅に伸びる】

道路のはしを歩いていた歩行者が前から来た車にはねられて死亡。歩道があれば防くことができたのに—こんな事故を防ぎ、歩行者の安全を確保するため交通量の多い道路へ歩道を設置しています。今年、国道1号線と国道139号線の一部に歩道が設置されることになり、さきごろ建設省から計画が示されました。なお、歩道設置個所は次のとおりです。

国道に歩道を設置

建設省から3カ所の歩道計画が…

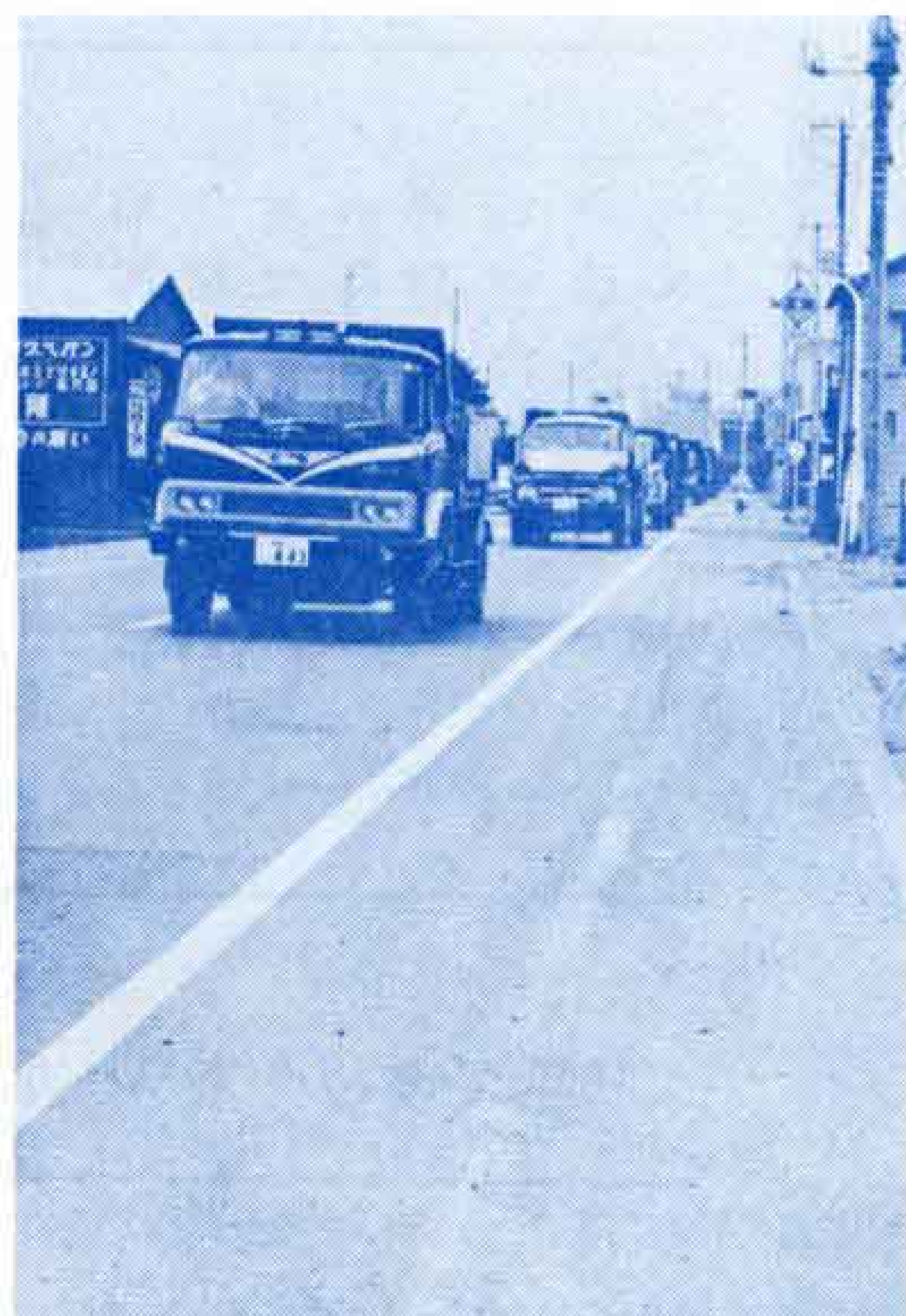
■国道139号線

県道御殿場富士線の交差点（伝法橋東側信号機）から西へ1600m、厚原西愛鷹神社付近まで。歩道幅は1.5mで、北側に設置。ブロックで車道と区分します。



■国道1号線

臨港富士線交差点（岳鉄踏切西側）から西へ800m、旧消防第2分団跡付近まで歩道幅は2mで、道路より一段高く両側に設置します。



■国道1号線

県道御殿場富士線交差点（市立富士中央病院南側）から西へ500m。旧東海道出口付近まで。

旧富士警察署前から西へ700m、岩山石油スタンド前まで。

歩道幅は1.2mで道路より一段高く両側に設置します。